令和４年度　第１回学校運営協議会議事録

令和４年６月13日（月）

部会	内容・意見
学校評価部会 （全体会）	◎副校長より 令和４年度学校評価目標設定について説明 〇視点４「地域等との協働」防災について、学校でも自衛隊で実施している研修を利用してはどうか。 〇前年度の達成状況から、今年度の目標が設定されているのか。 ➡学校評価に関するアンケートを活用し、学校評価の報告を行っている。前年度の報告をもとに、今年度の目標が設定されている。 〇医療的ケアに関する通学支援について、今まで医療的ケアのある児童生徒は、スクールンバスの利用は困難だった。今後、看護師の配置や福祉車両の利用で通学を保証することができる。 〇教育の ICT 化について、特別支援学校の場合、タブレットは子ども一人一台の配備になっていない。地域小学校では、一人一台が実現したが特別支援では、いまだに実現しない。ぜひ、実現させてほしい。
切れ目ない支援部会 （分散会）	◎支援連携ＧＬより 茅ケ崎養護学校のセンター的機能について説明 〇茅ケ崎市では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ふれあい補助員が支援をする。 〇特別な支援を必要とする子に、支援級は他の子どもたちと別扱いという考え方が存在するかもしれないが、茅ケ崎市では支援級・通常級の差があまりないと感じる。 〇茅ケ崎養護からの支援として、学校コンサルテーションや巡回相談は、ありがたい。 〇学校コンサルテーションの内容によっては、学校経営に係ることもある。会議の場には管理職も同席してほしい。 〇地区別支援学校と地域の小中学校との人事交流はとても有効である。支援級と通常級を繋ぐ役目も果たしていると言える。
学校防災部会 （分散会）	◎総務ＧＬより 防災に関する活動は、令和３年度より力を入れている。昨年、ＰＴＡと共同して、トヨタモビリティーをはじめ企業にご参加いただき、防災フェスタを２回実施した。今年度、ソーラークッキング、防災展示

	フェスタ、避難のための車上宿泊体験などを実施予定。 〇本校はスクールバス 7 台だが、バス内には介助員 2 名と運転手１名の 3 名の大人のみで、災害時に対応しなくてはならない。災害発生時に、一時避難するための場所を 2 か所検討している。地域の方々にご理解いただき、困ったときに手を差し伸べてほしいと考えている。 〇石巻の「ど根性ひまわり」について説明してほしい。 ➡石巻で被災した人の経験を茅ケ崎でも活かしたい。被災した石巻のひまわりの種を学校や地域（元気村マルシェなど地域イベント）に配付している。 〇キッチンカーを災害時に活用することは、市と協力し合って実施する方向である。
まとめ （全体会）	◎地域の皆さんと顔の見える関係が大切と考えている。 今後とも、よろしくお願いします。